

プログラム 7月8日(日) Program

第1会場

ワークショップ「患者と育む透析医療」

8:30~10:00

座長：水内恵子（安田女子大学看護部成人看護学）
池田志帆子（医療法人社団 前田記念会 石神井公園じんクリニック）

- WS 高齢透析導入期患者の透析療法受容までの関わり
～患者の反応に合わせた指導を試みて～
石原あゆみ（庄原赤十字病院 人工透析室）
- WS PDを選択した終末期患者への関わり
患者の希望に寄り添う看護と家族支援を考える
伊藤美和子（社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院）
- WS 維持期の療法選択支援
～PD+HD併用療法中に今後の治療について不安があった患者への支援～
酒井かおり（医療法人社団 手稲ネフロクリニック 看護部）
- WS 維持透析患者へのフットケア介入から透析看護を学ぶ
安藤恭代（医療法人朝霧会じんの内医院 透析センター）
- WS なんでやねん 救われてるやん 私たち
今西伸子（（柏友会）柏友千代田クリニック）

サイコネフロロジー入門講座2

10:05~10:35

座長：杉谷 篤（国立病院機構 米子医療センター 外科）

- IN-2 ベンゾジアゼピン薬剤入門
竹内 崇（東京医科歯科大学医学部附属病院 精神科）

プログラム 7月8日(日) Program

教育セミナー1 「次期大会長講演」

10:40~10:50

座長：小川智也（埼玉医科大学総合医療センター 腎高血圧内科・血液浄化センター）

ES-1 サイコネフロロジーの「サ」はサイエンスの「サ」
船越 哲（医療法人衆和会 長崎腎病院）

教育セミナー2

10:50~11:20

座長：船越 哲（医療法人衆和会 長崎腎病院）

ES-2 An Introduction to Psycho-nephrology (in English)
Daniel Cukor（ダニエル・スーコー）（SUNY Downstate Medical Center）

大会長講演

11:25~12:10

座長：伊丹儀友（医療法人友秀会 伊丹腎クリニック）

自分を育むことの喜び～Good Better Howとの出会い～
前田国見（医療法人社団 前田記念会／石神井公園じんクリニック）

ランチョンセミナー2

12:20~13:20

座長：前田国見（医療法人社団 前田記念会／石神井公園じんクリニック）

LS-2 佐和子&ふみの気ままな井戸端医療談義
阿川佐和子
檀 ふみ

共催：バイエル薬品

教育講演3

13:35~14:15

座長：松岡哲平（医療法人社団 大誠会）

EL-3 アスリートのゴルフメンタル
石橋麻美（ASAMI YAMANAKA）

プログラム 7月8日(日) Program

特別企画 現場で求められる大切を考える2 「認知症を知って診る」 14:20~15:20

座長&コメンテーター：村田雄一（医療法人 好友会 飯能老年病センター）

- SP-2 高齢認知症透析患者を知って見る
呉羽生枝（医・社）大誠会 有料老人ホーム榆の樹）
- SP-2 通院透析生活の維持～看護師の役割～
中村信子（善仁会グループ透析患者さまメンタルケアプロジェクト）
- SP-2 人工透析の継続に苦慮したアルツハイマー型認知症の1例
宇土仁木（北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室）

第2会場

一般演題6 「患者・家族支援3」 8:15~9:25

座長：鈴木一裕（援腎会 すずきクリニック）
田代紀子（JCHO千葉病院 腎センター透析室）

- O6-1 透析患者に対する自己受容度調査
福井小夜子（山陰労災病院 腎センター）
- O6-2 転院を繰り返す透析患者との関わり
真船美智江（柳原腎クリニック）
- O6-3 透析患者の「死にたい」の訴えは「話を聴いてほしい」サイン
佐々木美千子（JCHO千葉病院 腎センター透析室）
- O6-4 当院の危機的状況にある透析患者の事例を振り返ってみて
金井夕子（総合相模更生病院）
- O6-5 自己管理良好な血液透析患者の「病いと健康管理行動の軌跡」および影響要因
木村奈穂子（医療法人一陽会原田病院）
- O6-6 近々の透析医療の現場で思うことー第12報ー3.11大震災後7年が過ぎてー
宍戸 洋（みやぎ清耀会 緑の里クリニック）
- O6-7 心不全の併存がある長期血液透析療者が透析療法を継続することへの思い
内桶和世（医療法人花咲会 かわさき記念病院）

プログラム 7月8日(日) Program

シンポジウム2 「地域のサイコネフロロジーを育むために」

9:30~11:00

座長：小川智也（埼玉医科大学総合医療センター 腎高血圧内科・血液浄化センター）
片村幸代（社会医療法人新生会十全クリニック）

- SY-2 サイコネフロロジーの地域活動の重要性と実際の方法：埼玉サイコネフロロジー研究会
堀川直史（埼玉医科大学かわごえクリニックメンタルヘルス科）
- SY-2 埼玉サイコネフロロジー研究会の歩みと地域活動—心理士の視点から—
小貫亜希子（医療法人埼玉会 埼玉草加病院）
- SY-2 地域におけるサイコネフロロジー研究会の活動継続の方略と課題
大武陽一（堺市立総合医療センター）
- SY-2 透析医療に携わる看護師の困難感と地域におけるサイコネフロロジー拡大への方略
田中順也（堺市立総合医療センター 看護局）

一般演題7 「スタッフのメンタルヘルス」

11:05~12:05

座長：西村勝治（東京女子医科大学）
山口裕子（順天堂大学医学部附属練馬病院）

- O7-1 血液透析時の静注剤投与頻度とスタッフのメンタルヘルスの関連
上谷しのぶ（医療法人衆和会 長崎腎病院）
- O7-2 終末期維持血液透析患者に関わる看護師の感情体験
石原文緒（医療法人徳洲会札幌徳洲会病院）
- O7-3 転入間もない高齢認知症患者に対する関わりを工夫して
後藤とし枝（医療法人腎愛会だてクリニック）
- O7-4 当透析療法チームで看護師が感じる協働の困難～多職種間の壁は厚い～
仁平智子（医療法人腎愛会だてクリニック）
- O7-5 「脱人格化」は透析施設の看護師バーンアウトにおいて最も強い負のインパクトを有する
岩井由紀子（医療法人衆和会 長崎腎病院）
- O7-6 腎・透析内科におけるリエゾンチーム構築の試み
小貫亜希子（医療法人埼玉会 埼玉草加病院）

プログラム 7月8日(日) Program

一般演題8 「治療・意思決定支援」

13:30~14:20

座長：神田文義（前田記念新横浜クリニック）
岡本雅代（一般社団法人 甲南会 六甲アイランド甲南病院）

- 8-1 透析非導入で終末期を希望されているA氏との関わりを考える～納得できる選択をめざして～
森永美智子（株式会社日立製作所 日立総合病院 看護局）
- 8-2 家族と音信不通の患者が腎代替療法を意思決定するまでの看護支援
井上智恵（大阪医科大学附属病院看護部）
- 8-3 延命治療拒否宣言について～ある患者さんがとった行動～
相賀貴子（尾鷲総合病院看護部）
- 8-4 患者指導における「致命的な7つの習慣」と「身につけたい7つの習慣」
高橋 朗（社会医療法人 信愛会 暁生会脳神経外科病院）
- 8-5 動機づけ面接を用いて血液透析の導入を援助できた高齢者の一例
前川道隆（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院）

プログラム 7月8日(日) Program

一般演題9 「その他・終末期」

14:25～15:25

座長：平松 信（岡山済生会総合病院）

篠原千香子（医療法人社団 秀佑会 東海病院）

- 9-1 透析離脱を希望し在宅での最期を迎えることができた超高齢透析患者の一例
丸山佐和子（藤井寺敬任会クリニック分院）
- 9-2 透析病院附設特別養護老人ホームでの看取りの一例－余命の非告知症例
小松利恵子（社会福祉法人 照善会）
- 9-3 終末期を迎えた透析患者にできる最善の看護とは
原田秋子（新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院）
- 9-4 脳血管障害（CVD）罹患後の外来血液透析患者のQOLの変遷－KDQOL-SFTMによる評価
丸田祥平（医療法人衆和会 長崎腎病院）
- 9-5 内科医と精神科医のコミュニケーションの難しさ～精神疾患合併患者の透析導入を通して
藤倉恵美（東北大学病院血液浄化療法部）
- 9-6 高齢者の足の問題に対する私たちの取り組み
嶋田淳一（社団法人プレメディカルYOBO協会）